



## 第61回 防災講演会のご案内

NPO法人 都市災害に備える技術者の会では、下記のとおり防災講演会を開催いたします。

今回は、市民目線での防災行動の視点から、日々の生活において「ふだん」と発災時での「まさか」をつなぐ地域づくりについて、先生が経験された能登半島地震被災地支援を通じてみてきたことや、巨大地震や河川氾濫・土砂崩れ時において、あらかじめ、どのような備えをしておけば人的被害や物的被害を最小化できるのか、災害関連死を未然防止する手法や万一の発災時での確かな避難行動について、現地での市民との意見交換を踏まえた実践に基づく豊富な経験や斬新な取り組みなどをご講演いただきます。現場経験に基づく貴重なお話を市民の皆さまにも分かりやすくお聞きいただける絶好の機会です。防災分野の専門家はもちろん、広く市民の皆さまにもご参加いただければ幸いです。

### 記

主催：NPO法人 都市災害に備える技術者の会

後援：日本技術士会近畿本部防災研究会、神戸防災技術者の会、大阪府防災士会（日本防災士会大阪府支部）

日時：2026年7月12日(日) 14時～16時30分 「対面のみ」

場所：〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 電話：06-6910-8616

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) 5階セミナー室1



テーマ：『まねっこ防災』

講師：大門大朗 先生（福知山公立大学地域経営学部准教授）

参加費：無料

申込期限：2026年7月11日(土) 12:00まで

但し、会場の都合により先着50名とさせていただきます。

参加申込は、下記のフォームからお願いします。スマホの方はQRコードで



申込フォーム	<a href="https://forms.gle/2sXwnx8ykp9Knphw5">https://forms.gle/2sXwnx8ykp9Knphw5</a>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------

- ・氏名・メールアドレス・所属（団体/会社）・普段連絡が取れる電話番号（携帯電話）を送信してください。
- ・申込フォームに入力できない方は、事務局（E-mail：[office@toshisaigai.net](mailto:office@toshisaigai.net)）に連絡してください。  
代理で申込フォームに入力いたします。

【問合せ先】NPO法人 都市災害に備える技術者の会 事務局 太田宛（090-3284-6299）

E-mail：[office@toshisaigai.net](mailto:office@toshisaigai.net) Fax 078-201-0077

# 防災講演会

## 『まねっこ防災』

講師:大門 大朗(だいもん ひろあき)先生



### 【所属】

福知山公立大学准教授（博士・人間科学）

### 【講師略歴】

- 2016年 : 大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了
- 2019年 : 同研究科博士後期課程修了（博士・人間科学）
- 2019年～23年 : 京都大学防災研究所・日本学術振興会特別研究員
- 2021年～23年 : 米国デラウェア大学災害研究センター客員研究員
- 2023年～ : 福知山公立大学地域経営学部准教授

### 【研究内容・専門分野】

社会心理学／グループダイナミックス(集団力学)/災害復興／災害ボランティア／  
防災行動

### 【所属学会】

日本グループダイナミックス学会／日本災害復興学会／日本自然災害学会など

### 【講演概要】

大門大朗先生は社会心理学の視点からの避難行動分析がご専門で、学問は地域と社会とは地続きであり、切り離すことができないという視点で、いかにして被害を最小限に食い止めるかという研究に現地に何度も足を運ばれて取り組まれています。

とりわけ、2024年1月1日の能登半島地震では、40回にわたり被災地での厳しい実情を調査され、避難行動の実態や復興支援の成果を地元福知山市において、市民向けにも防災講座を開催されました。福知山市では、近年でも10年に5回もの由良川氾濫による水害に見舞われ、福知山から能登への「被災地のリレー」というキーワードで、子供たちにもわかりやすく説明されました。

今後、南海トラフ巨大地震や集中豪雨による河川氾濫、土砂崩れなどが懸念されています。大規模な自然現象に起因する災害のリスクを評価し、周辺地域を含め、事前の防災対策、災害関連死の防止、地区防災計画の策定、防災教育など防災関係者だけでなく市民や企業、行政の皆様が知っておかれるべきことをわかりやすくお伝えすることが課題となっています。今回はこれらの課題を中心に先生からの知見をいただき、ご参加いただく皆様との意見交換のお時間（質疑応答の時間 約50分）も設けました。

どうぞご期待下さい。